ピロミド酸錠
Piromidic Acid Tablets

溶出試験　本品 1 個をとり，試験液にラウリル硫酸ナトリウムの pH8.0 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液溶液(3→200) 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により, 毎分 100 回転で試験を行う. 溶出試験を開始し, 規定時間後, 溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45μm 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 *V*mL を正確に量り，表示量に従い 1mL 中にピロミド酸($C_{14}H_{16}N_4O_3$)約 2.8μg を含む液となるようにラウリル硫酸ナトリウムの pH8.0 のリン酸水素二ナトリウム･クエン酸緩衝液溶液(3→200)を加えて正確に *V′*mL とし，試料溶液とする．別にピロミド酸標準品を 105℃で 3 時間乾燥し，その約 0.028g を精密に量り，ラウリル硫酸ナトリウムの pH8.0 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液溶液(3→200)に溶かし，正確に 200mL とする．この液 2mL を正確に量り，ラウリル硫酸ナトリウムの pH8.0 のリン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液溶液(3→200)を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 274nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品が溶出規格を満たすときは適合とする．

ピロミド酸($C_{14}H_{16}N_4O_3$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 9$$

W_S：ピロミド酸標準品の量(mg)

C ：１錠中のピロミド酸($C_{14}H_{16}N_4O_3$)の表示量(mg)

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
250mg	45 分	75%以上

ピロミド酸標準品　「ピロミド酸」．ただし，乾燥したものを定量するとき，ピロミド酸($C_{14}H_{16}N_4O_3$)99.0%以上を含むもの．

リン酸水素二ナトリウム・クエン酸緩衝液，pH8.0　0.05mol/L リン酸水素二ナトリウム試液 1000mL に，クエン酸一水和物 5.25g を水に溶かして 1000mL とした液を加え，pH8.0 に調整する．